



ジオパーク通信

洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会だより

第 16 号

洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会

(洞爺湖町役場ジオパーク推進課内)

TEL (0142) 74-3015

ジオパーク通信では、各回にわけて、それぞれの町のジオサイト（ジオパークのみどころ）について紹介しています。今回は、豊浦町に注目！

豊浦町の海岸線では、海底火山の活動によって生まれた特徴のある岩が見られます。断崖絶壁も多く、北海道の三大難所の一つと言われるほど通行の難しい場所でした。鉄道が開通した昭和3年以降、その絶景は多くの文人に愛され、文学作品などにもうたわれています。



礼文華キャンプ場近くの海岸

【貫入岩脈】（かんにゆうがんみやく）

豊浦町礼文華川河口

礼文華（れぶんげ）川の河口にある、厚さ5mほどの三角形の岩。近づいてみると、ブロックを積み上げたような、規則的なひびが入っているのがわかります。

これは地下で溶けたマグマが地層の隙間に入り込み、冷えて板のように固まって、細かくひびが入ったもの。数百万年前に、ここで火山活動があった証拠です。

豊浦町の海岸線では、このような岩をたくさん見ることができます。



文学碑公園

【文学碑公園】（ぶんがくひこうえん）

豊浦町礼文華

礼文華海岸は火山活動によってできた、ごつごつした岩が続いているため、昔から難所（通るのが大変な場所）として知られていましたが、昭和3年に長万部から室蘭の輪西までの鉄道が開通すると、多くの人々がここを通れるようになりました。

昭和6年に来道した歌人、与謝野寛・晶子夫妻は、噴火湾の風景を歌に詠んだことから、これを記念して、歌碑が建てられています。

有珠の峰 礼文の磯の大岩の
ならぶ中にも我を見送る 与謝野 寛

藪しらね 虹となりても掛かるなり
羊蹄山の六月の雪 与謝野 晶子

文学碑公園にはこのほかにも、斉藤茂吉や伊藤整らの歌碑があります。



奇岩の間を道路が通っています